

## 10月14日清掃奉仕会が開催されました。

今年も親鸞聖人御命日法要の「報恩講」をお迎えする頃となりました。毎年本山の京都東本願寺では11月21日から28日まで「報恩講」が厳修されますが、今年の常福寺「報恩講」は10月19日と20日に厳修されます。

常福寺では、毎年春の「永代経」と秋の「報恩講」の一週間前に清掃奉仕会を開催しています。男性が本堂周りの枯葉や草を集める外清掃を行って、女性が本堂内で仏具のお磨きをしています。先日の奉仕会では男性4名と女性11名、子供2名が集まって、約1時間半汗を流して作業をしました。

この清掃奉仕会は始まってまだ10年も経っていません。以前は、法事のお手伝いに来てくださったご門徒のおばさん方と2～3人で、二日ばかりでお磨きをやっていたものでしたが、もっとご門徒さんにお寺へ親しみをもっていただければとの思いから、清掃奉仕会として始めました。

奉仕会を始めた頃は参加者が4～5人くらいでしたが、年々来てくださる方が増えて、今ではお磨きをする仏具の担当が決まっている雰囲気が出てきました。

一番大変なのが、お花を生ける華瓶（かひんと読みます）です。模様が細かい上に、とても重たいので腱鞘炎になるかも！？くらい磨くのに力が入ります。二番目は蠟燭を立てる鶴亀です。どちらも1時間くらい格闘してしまいます。それでも「この華瓶を毎年磨くのが楽しみで・・・」とおっしゃって、一生懸命磨いてピカピカにしてくださいます。すべての仏具を分解すると、細かい物から大きな物までたくさんの数になりますが、黙々と磨き続けて綺麗になると「今年もこれで報恩講がお迎えできますね。」と、達成感と安心感でホッとします。

お茶とお菓子でしばし休憩をして、最後は美しくなった仏具を前にして全員で「正信偈」をお勤めして終了です。法要は19日ですが、清掃奉仕会からすでに報恩講は始まっているような、そんな思いのする1週間です。ご参加のみなさま、ありがとうございました。

